

政治起業家部門



グランプリ

地域振興の一つの成功モデル「チーム川崎」による地域の中小企業の事業革新を支援する「オープンイノベーション」

●藤沢久美さんとチーム川崎

日本を支えているのは中小企業とそこに住む人々。川崎はそこに光を当ててきた。地方が元気になるヒントを本で訴えたかった(藤沢)公害や産業の空洞化を20年以上をかけて克服してきた。寄ってたかって地元企業を元気にし、志の輪をつなげてきた(チーム川崎)

前の現実を1ミリでも変えるために社会起業家が身につけるべき「変革の知性」として、思想、ビジョン、志、戦略、戦術、技術、人間力の7つの力の重要性和それぞれの意味を学んだ。

社会起業家大学(田中勇一理事長)とデモクラシー2.0イニシアティブ(田坂広志代表発起人)の主催による「ソーシャルビジネスグランプリ2014夏」が9月7日に開催された。

政治起業家部門は事前リサーチにより、地域再生の成功モデルとして全国から視察が絶えない川崎市と、それを取材し『なぜ、川崎モデルは成功したのか?』を執筆した藤沢久美さんに、グランプリが贈られた。

社会起業家部門では、アフリカで女性の安全な出産と人生計画を支援する、杉下智彦さんの事業計画がグランプリと共感大賞をダブル受賞した。田坂広志審査委員長は、事業の完成度に加え、地球目線で社会を変えようとする点と、その後ろ姿を多くの社会起業家に見せつけてくれるだろう2点を高く評価した。杉下さんは、「世界のリーダーが女性だったら戦争は起きないと言います。事業を通して貧困や差別、争いのない地球につなげたいです」と決意を示した。

審査員特別賞は米長晴信さんと、共に取り組み中の丹波山村村長が選ばれた。税金に変わるクラウドファンディングの可能性を感じさせた。

田坂委員長の基調講演では、目的



生涯学習開発財団佐藤梨奈から社会起業家部門グランプリ受賞者の杉下智彦さんに、起業助成金30万円の目録が贈呈された。

社会起業家部門



和を以て貴しと為す~新しくて懐かしくもある弁護士の形

●藤川法律事務所 弁護士 藤川真之介さん

弁護士は実は話し合いのプロで、話しがまとまらないと裁判になる。想像力、創造力、対話力を引き出し、自分で人生のマネジメントができる力を引き出すエンパワーメントを。「和を以て貴しと為す」世界の実現を目指す。



未知なる可能性を探究する CRAZY COOKING

●Crazy Project 代表 松田政治さん

「みなさんCrazyしてますか!? 世の中のイノベーションはCrazyな人が起こすんです」。貧困の子供時代から料理の世界に進む。心の貧困に陥った人をCRAZY COOKINGを通じて元気にし、後世に誇れる社会の創造を。



価値観で人と人をつなげる「共感」de work

●株式会社ルリエ 代表取締役 松本草太さん

自身が就職のミスマッチから4回転職、うつ病や自殺未遂まで経験。地方の中小企業の人材不足を解消すると同時に、人が価値観の合う会社でイキイキ働ける仕組みを作り、日本経済の活性化や行政改革にまでつなげたい。



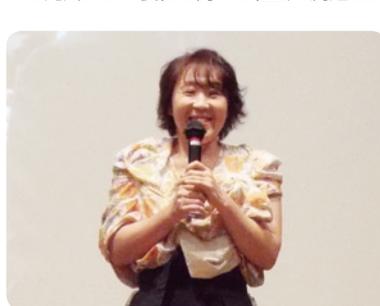
共感大賞

グランプリ

SU*TE*KI アフリカで100万人が安心して出産できるクリニック

●JICA国際協力専門員/保健課題アドバイザー 杉下智彦さん

1995年からアフリカで医療活動。今でも年に16万人の妊婦が死亡する。ケニアの妊婦を対象に医学的支援をし、安全な自然分娩を促進する。同時に、美容や栄養など女性の生涯をトータルに支援するクリニックを予定。



文化体験のテーマパーク「宙人ワンダーランド」で地球に新しい調和を!

●こころやまと株式会社 代表取締役 内藤明子さん

5歳からやっている書道と禅を融合した講座を皮切りに、能、古代楽器、ヨガ、ダンスなど、周りのアーティストを巻き込んだ「道」のテーマパークを展開したい。宇宙や自然との一体感の下、言葉がなくても伝わる世界を。



審査員特別賞

地方自治体が民間資金を調達する新しいカタチ~自治体主導クラウドファンディング

●前参議院議員 米長晴信さん

日本の人口減でも地方から都市への流出は今も続く。地方自治体が必要としているのは小口で使いやすい資金。クラウドファンディングを活用した地方を支援する仕組みを、丹波山村と取り組み中。丹波山村長と共同受賞。